

## 振込・請求データ作成にあたっての注意事項

資金移動サービス(振込・振替、総合振込、給与・賞与振込、口座振替)の振込・請求データを作成の際は、以下の点にご注意ください。

全銀協規定方式(全銀フォーマット)とは、

- ・全銀協標準通信プロトコル(ベーシック手順、TCP/IP手順)によりデータ伝送を行うために全国銀行協会連合会が定めたデータ(ファイル)フォーマットです。
- ・データは4種類の異なるフォーマットのレコード(ヘッダー、データ、トレーラ、エンド)により構成されます。
- ・データ作成の際は、全銀フォーマットに対応した、会計ソフト、給与計算ソフト等で作成できます。  
また、全銀フォーマットのデータはテキスト形式なので、テキストエディタ(メモ帳、秀丸等)で参照や編集をしたり、他のテキスト加工ツールなどでデータを整形することもできます。

データ作成時の主な注意点

(1)金融機関番号と金融機関名、および支店番号と支店名について

- ・インターネットバンキングはデータ受付時に、金融機関番号と金融機関名(または支店番号と支店名)の組み合わせが正しいかどうか、チェックが行われます。正しい組み合わせデータを作成してください。  
また、銀行名および支店名には、「・・・ギンコウ」、「・・・エイキョウブ」、「・・・シテン」部分の入力は必要ありません。

例) ナガノギンコウ → ナガノ  
ホntenエイキョウブ → ホnten  
マツモトエキマシテン → マツモトエキマエ

(2)依頼人コード、委託者コードについて

- ・依頼人コードおよび委託者コードとは、各金融機関が各お客さまを識別するために採番している10桁の数字のコードです。
- ・依頼人コードおよび委託者コードは、お申込時に長野銀行より通知いたします。ご不明の場合は、長野銀行(フリーダイヤル:0120-089-054)へお問い合わせください。

(3)使用できる文字コードおよび改行コードについて

- ・使用する文字コードは、JISコード(EBCDICは不可)です。
- ・改行コードは、「CR+LF(0d0a)」、「CR(0d)」、「LF(0a)」の利用が可能です。
- ・エンドレコード後の改行コードおよびEOF(1a)は、任意です。

# 資料：総合振込(全銀協制定フォーマット)

## 1. ファイル形式



☆①、②、…、⑩ はデータ・レコードの数を表します。

## 2. レコードの仕様

項目	内容
レコード長	120バイト
改行(CR RF)をつける場合	120バイトの後に2バイトで収容する
使用コード	JISコード(EBCDIC不可)

桁数欄の「N」は数字(右詰め、前余白は0で埋める)、「C」は半角文字[カタカナ、英大文字、数字の混在](左詰、後余白はスペースとする。)

### (1)ヘッダーレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	1:ヘッダー・コード
2	種別コード	N(2)	21:総合振込
3	コード区分	N(1)	0:JIS
4	会社コード	N(10)	当行が採番した依頼人(委託者)コード
5	会社名	C(40)	振込元の依頼人名
6	振込指定日	N(4)	月日(MMDD):振込指定日【銀行営業日に限る】
7	仕向銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の銀行番号
8	仕向銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
9	仕向支店番号	N(3)	取引支店コード
10	仕向支店名	C(15)	取引支店名称(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金:振込依頼人の預金種目(科目)
12	口座番号	N(7)	振込依頼人の口座番号
13	ダミー	C(17)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

### (2)データレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	2:データレコード
2	被仕向銀行名	N(4)	振込先金融機関コード(統一金融機関コード)
3	被仕向金ギンコウ名	C(15)	振込先金融機関名称(カナ)(「ギンコウ」部分は不要)
4	仕向支店番号	N(3)	振込先支店コード
5	被仕向支店名	C(15)	振込先支店名称(カナ)(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
6	手形交換所番号	N(4)	未使用(ゼロとする)
7	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金、4:貯蓄預金、9:その他
8	口座番号	N(7)	振込先の口座番号(スペース、ハイフン等は入力しない)
9	受取人名	C(30)	受取人名(カナ)
10	振込金額	N(10)	振込依頼金額(0円は入力付加)
11	新規コード	C(1)	未使用(ゼロとする)



項番	項目名	桁数	内容
12	顧客コード1	C(10)	お客さまが付した顧客コード1
13	顧客コード2	C(10)	お客さまが付した顧客コード2

または、

12 13	EDI情報	C(20)	受取人に対して通知するEDI情報(項番15 識別表示を「Y」とする)
----------	-------	-------	------------------------------------

14	振込指定区分	N(1)	7: 電信振込(テレ為替)
15	識別表示	C(1)	スペース:EDI情報を使用しない、Y:EDI情報を使用しない
16	ダミー	C(7)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(3)トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計
4	ダミー	C(101)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

(4)エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	9:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペースとする(未使用)

# 資料：給与・賞与振込（全銀協制定フォーマット）

## 1. ファイル形式

データ区分1 ヘッダー レコード	データ区分2 データ レコード①	データ区分2 ヘッダー レコード②	.....	データ区分2 ヘッダー レコード⑩	データ区分8 トレーラ レコード	データ区分9 エンド レコード
------------------------	------------------------	-------------------------	-------	-------------------------	------------------------	-----------------------

☆①、②、…、⑩ はデータ・レコードの数を表します。

## 2. レコードの仕様

項目	内容
レコード長	120バイト
改行(CR RF)をつける場合	120バイトの後に2バイトで収容する
使用コード	JISコード(EBCDIC不可)

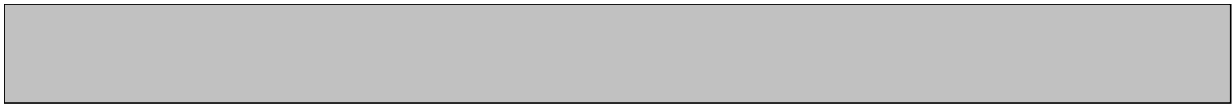
桁数欄の「N」は数字(右詰め、前余白は0で埋める)、「C」は半角文字[カタカナ、英大文字、数字の混在](左詰、後余白はスペースとする。)

### (1)ヘッダーレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	1:ヘッダー・コード
2	種別コード	N(2)	11:給与振込、12:賞与振込
3	コード区分	N(1)	0:JIS
4	会社コード	N(10)	当行が採番した依頼人(委託者)コード
5	会社名	C(40)	振込元の依頼人名
6	振込指定日	N(4)	月日(MMDD):振込指定日【銀行営業日に限る】
7	仕向銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の銀行番号
8	仕向銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
9	仕向支店番号	N(3)	取引支店コード
10	仕向支店名	C(15)	取引支店名称(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金:振込依頼人の預金種目(科目)
12	口座番号	N(7)	振込依頼人の口座番号
13	ダミー	C(17)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

### (2)データレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	2:データレコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	振込先金融機関コード(統一金融機関コード)
3	被仕向銀行名	C(15)	振込先金融機関名称(カナ)(「ギンコウ」部分は不要)
4	仕向支店番号	N(3)	振込先支店コード
5	被仕向支店名	C(15)	振込先支店名称(カナ)(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
6	手形交換所番号	N(4)	未使用(ゼロとする)
7	引落口座の預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金
8	引落口座の口座番号	N(7)	振込先の口座番号(スペース、ハイフン等は入力しない)
9	引落口座の預金者名	C(30)	受取人名(カナ)
10	引落金額	N(10)	振込依頼金額(0円は入力付加)
11	新規コード	C(1)	0:その他、1:第1回引落分、2:変更分



項番	項目名	桁数	内容
12	社員コード	C(10)	お客さまが付した社員コード
13	所属コード	C(10)	お客さまが付した所属コード
16	ダミー	C(9)	スペースとする(未使用)
計		(120)	

(3)トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計
4	ダミー	C(101)	スペースとする(未使用)
計		(120)	

(4)エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	9:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペースとする(未使用)

# 資料：口座振替請求(全銀協制定フォーマット)

## 1. ファイル形式

データ区分1 ヘッダー レコード	データ区分2 データ レコード①	データ区分2 ヘッダー レコード②	.....	データ区分2 ヘッダー レコード⑩	データ区分8 トレーラ レコード	データ区分9 エンド レコード
------------------------	------------------------	-------------------------	-------	-------------------------	------------------------	-----------------------

☆①、②、…、⑩ はデータ・レコードの数を表します。

## 2. レコードの仕様

項目	内容
レコード長	120バイト
改行(CR RF)をつける場合	120バイトの後に2バイトで収容する
使用コード	JISコード(EBCDIC不可)

桁数欄の「N」は数字(右詰め、前余白は0で埋める)、「C」は半角文字[カタカナ、英大文字、数字の混在](左詰、後余白はスペースとする。)

### (1)ヘッダーレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	1:ヘッダー・コード
2	種別コード	N(2)	91:預金口座振替
3	コード区分	N(1)	0:JIS
4	委託者(会社)コード	N(10)	当行が採番した依頼人(委託者)コード
5	委託者(会社)名	C(40)	口座振替請求の依頼人名
6	引落指定日	N(4)	月日(MMDD):引落指定日【銀行営業日に限る】
7	引落銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の銀行番号
8	引落銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
9	引落支店番号	N(3)	取引支店コード
10	引落支店名	C(15)	取引支店名称(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
11	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金:振込依頼人の預金種目(科目)
12	口座番号	N(7)	振込依頼人の口座番号
13	ダミー	C(17)	スペースとする(未使用)
	計	(120)	

### (2)データレコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	2:データレコード
2	引落銀行番号	N(4)	0533:長野銀行の金融機関番号
3	引落銀行名	C(15)	ナガノ(「ギンコウ」部分は不要)
4	引落支店番号	N(3)	請求先支店コード
5	引落支店名	C(15)	請求先支店名称(カナ)(「シテン」、「エイギョウブ」部分は不要)
6	手形交換所番号	C(4)	未使用(スペース)
7	預金種目	N(1)	1:普通預金、2:当座預金
8	口座番号	N(7)	請求先の口座番号(スペース、ハイフン等は入力しない)
9	預金者名	C(30)	請求先口座の預金者名(カナ)
10	振込金額	N(10)	振込依頼金額(0円は入力付加)
11	新規コード	N(1)	1:第1回引落分、2:変更分(引落店舗、口座番号)、0:その他



項番	項目名	桁数	内容
12	顧客番号	C(20)	お客さまが付した固有の番号
13	振替結果コード	N(1)	未使用(ゼロとする)
16	ダミー	C(8)	スペースとする
計		(120)	

(3)トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N(12)	データ・レコードの振込金額の合計
4	振替済件数	N(6)	未使用(ゼロとする)
5	振替済金額	N(12)	未使用(ゼロとする)
6	振替不能件数	N(6)	未使用(ゼロとする)
7	振替不能金額	N(12)	未使用(ゼロとする)
8	ダミー	C(65)	スペースとする
計		(120)	

(4)エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	9:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	スペース